



紀産第1517号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長
金井道夫様

紀宝町長 西田 健



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第 37 号により依頼のありました標記
について、別添のとおり提出いたします。

事務担当

紀宝町産業建設課 大前、池田

TEL0735-33-0336

FAX0735-32-0727

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

三重県 紀宝町

これまで国土の均衡ある発展を実現することを目的にご尽力いただいているところでございますが、今後の道路行政につきましては、各地域の社会資本全体の整備状況等を考慮した上で、各地域に必要な社会資本の整備を進めなければならないと考えます。

いうまでもなく社会資本とは、道路・鉄道・港湾・空港などの交通基盤施設や通信基盤施設、生活基盤施設などであり、これらは人々が生活を営み、産業が生産を行うのに必要不可欠な基盤施設であります。

社会資本は国民の誰もが、その効用を享受する社会共有の資産でありますし、そのため社会資本の多くは公共投資によって整備され、今日の経済発展や国民生活の向上に大きな役割を果たしてきました。

しかし、これらの社会資本全体の整備は、都市と地方の格差の拡大、過疎・過密化の進行といった従来の社会構造自体の歪みが表面化し、その問題は深刻化してきています。

都市部では、道路を中心に鉄道・港湾・空港などの社会資本の整備が充実しつつあるので、人の移動や経済・産業での物流などもさまざまな選択ができますが、当地域は、社会資本全体の整備が遅れている上に公共交通機関も衰退しているため、自動車交通への依存度が高い状況にあり移動・物流の選択肢が限られております。

現在、新たな交通需要推計や事業評価手法などの作業が進められておりますが、道路だけでなく社会資本全体の整備状況や公共交通機関を含めた交通体系の地域状況についても生活者・産業などで、どの程度の地域間格差（医療・防災・安全・高速ネットワーク等）が拡大しているのかを明確にし、格差のある地域は必要な道路を優先的に整備を進める評価手法に改善していただきたい。

また、本年7月に策定された国土形成計画につきましても「広域ブロック（各圏域）が交流・連携、相乗効果による活力」などによって暮らしやすい国土の形成を図ることとされておりますし、広域ブロック（各圏域）間の高速交通体系等の戦略的整備がより重要視されております。

この国土形成計画に基づき、広域ブロック（各圏域）間に位置する重要地域を優先的に高速交通体系等の戦略的整備を進める評価手法に改善していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

三重県 紀宝町

また、近年、整備・蓄積されてきた社会資本について、建設後相当の期間を経過するケースが増えつつあり、老朽化が原因でさまざまな障害が生じております。

今後、本町においても、これまで整備してきた町道・橋梁等が順次老朽化していくことを考慮すると、適切な維持管理・更新を行わなければ、安全性が損なわれるおそれがあります。

さらに市町村合併後は日常生活圏がますます拡大し、広域交流・連携を目指した道づくりが求められております。

このような課題の解消につきましては、地方の自主性、裁量性を高めるための補助金改革と地域再生の観点から多大なるご配慮を頂き道路整備の交付金制度が創設され、各地方がその地域の実情に沿った道路整備が進められております。

しかし、合併した各市町村においても財政がきわめて厳しい状況にあり、必要な道路整備の予算を確保することに大変苦慮しているところです。

このように地域住民から市町村道路の改善を求める声が高まる中、計画的な道路整備計画を推進するためにも、道路整備の交付金制度をより一層充実いただきますようお願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

三重県 紀宝町

○現状（国道）

- ・ 当地域には、近畿圏域と中部圏域を連絡する唯一の主要幹線道路として、改築工事が昭和４４年に完了した一般国道４２号があり、当地方の生活を支えるとともに産業及び経済発展の基盤でもある重要な路線として利活用している。
- ・ 一般国道４２号の沿道には家屋や店舗などが密集し、道路の幅員が狭く自転車歩行者道の整備ができていない区間がある。
- ・ 当地域内を行き来する生活道路としての機能をも併せ持つことから地域内の交通と当地域を通過する自動車交通とが混在する状況になっている。
- ・ 隣接する新宮市と紀宝町の境には一級河川熊野川があり、この川を渡河する熊野大橋が整備されているが、１箇所であるため交通が一極集中するので、慢性的な渋滞が発生し、円滑かつ安全な自動車交通が阻害されている。
- ・ 上記のように交通混雑や渋滞によって幹線道路としての機能が著しく損なわれている状況になっており、緊急車両の通行や経済・産業活動等に支障が生じている上に多くの痛ましい交通事故が発生している。
- ・ 当町を通る一般国道４２号は海岸線に位置しており、七里御浜海岸の侵食が進み国道近くまで波が打ち寄せているので、防災面からも不安の声が多く寄せられている。
- ・ 高規格道路等の整備状況は、近隣の熊野市で熊野尾鷲道路が和歌山県新宮市で那智勝浦道路が一部供用開始され、残り区間も順次整備されているが、近畿圏域と中部圏域を連絡する当町などの重要区間は予定路線となっている。
- ・ 三重県においては、道路整備が進んでいる北部と道路整備が遅れている南部（当地域）の経済格差が顕著に現れている。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

三重県 紀宝町

○現状・課題（県道）

- ・ 紀宝町内には鵜殿熊野線、紀宝川瀬線、小船紀宝線の３路線の県道があり、主に山間部の集落間をつなぐ幹線道路として、また、近隣の市町とをつなぐ広域道路として、さらに、災害時における緊急時の輸送道路として利活用している。
- ・ 県道は一部において、バイパス事業や改良工事を進めていただいているが、幅員が狭く歩道も整備されていない区間や集中豪雨により道路が冠水し、通行止めになる区間が多いため、引き続き未改良区間の整備を求める声が多くなっている。
- ・ 大規模地震等の災害が発生すれば、海岸線に位置している一般国道４２号は通行止めになると予想されており、県道は緊急時の代替道路として重要な位置付けがされている。

○現状・課題（町道）

- ・ 紀宝町内には１１１９路線の町道が地域に網の目のように張り巡らされており、人々の通勤・通学・買物のみならず、まちの賑わいや潤いを生みだし、生活の基盤として利活用している。
- ・ 町道の整備は道路整備交付金制度等を活用し、順次改修や耐震補強工事等を実施しているが、町道や橋梁の老朽化や未改良区間も多くあり、生活基盤の強化、良好な生活環境の確保などを進める上で、財源の確保が大きな課題となっている。
- ・ 市町村合併後に広域化した地域住民相互の交流による一体的な街づくりを進めるために、町内を結ぶ幹線道路の整備が急務となっている。市町村合併を行った市町村を優遇する新たな道路交付金制度等が必要。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

三重県 紀宝町

○課題（国道）

- ・公共交通機関が衰退している紀宝町は、自動車への依存率が高い状況にあるが、主要幹線となる道路が一般国道４２号のみのため交通の集中による交通混雑や渋滞、交通事故の発生など問題が生じており、交通を分散させる道路の整備が急務となっている。
- ・幅員が狭いため大型車両の交互通行に支障きたすばかりではなく、歩行者や自転車の通行が危険にさらされている。
特に一般国道４２号は生活などにおいて、多くの自・歩行者が日常的に利用するのに加え当地域における小学校、中学校及び遠方の高等学校に通学する生徒たちの通学路にも利用されているが、道路は狭く歩道も整備されていない区間もあるため歩行者及び自転車通行者は非常に危険な状況となっており、交通事故の発生件数も他の路線と比較しても多い状況のため交通事故の対策が急務。
- ・医師不足が深刻な問題となっている中で、今後はさらなる病院間の連携や救急患者の搬送が重要となっているが、一般国道４２号が唯一の主要幹線道路のため交通混雑や渋滞によって阻害されている。
- ・大規模地震による津波等の災害時に一般国道４２号が寸断すれば、迂回路がないため陸の孤島になる危険性が極めて高く災害に強い高規格道路の整備が強く求められている。
- ・中部圏域と近畿圏域を結ぶ重要区間にある当地域は、高速道路等規格の高い幹線道路網が未整備状況にあるため、高速道路へのアクセス利便性に地域格差が存在しており、高速道路等の整備が急務となっている。
- ・地域を活性化させる経済・産業についても、現在の道路整備状況では、時間距離が遠く安定的な物流が担保できない、また、輸送費用がかさみ経営を圧迫させている。企業誘致においても不利で新たな進出が得られない状況。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指す将来像

三重県 紀宝町

海・山・川の恵みに抱かれ、
ともに輝き創造するまち

～協働による一体感あふれ、誇りと愛着の持てるまちづくり～

(1) 安心・安全で快適に
暮らせるまちづくり

地域条件・生活環境等を考慮した道路の整備を行い、誰でも快適で安全に暮らせるまちの実現をめざします。

- ・生活道路の充実
- ・ユニバーサルデザイン・バリアフリー化の推進
- ・緊急車両の迅速かつ安定的な通行を可能にする道づくり
- ・災害時における代替道路の確保

(2) ぬくもりとやさしさが誘う、
健やかで心あふれるまちづくり

広域交流を図るための高規格道路等の整備や主要幹線道路へのアクセスを重点的に整備し、広域・地域間の交流・連携をめざします。

- ・高規格道路等の整備（近畿自動車道紀勢線、熊野川河口大橋）
- ・地域道路の充実（国道42号、県道、市町村道）
- ・港湾と高規格道路等を連絡する道路の整備など物流を支える道づくり
- ・広域に観光振興を支える道づくり

(3) 自然の恵みを生かした、賑わいある
産業・交流のまちづくり

自然への影響や負荷軽減を重視した道づくりを進めるとともに多様な文化にふれ親しむことができる環境づくりをめざします。

- ・町内の渋滞緩和施策の推進
- ・自然とのふれあいを大切にする道づくり
- ・景観と調和した道づくり
- ・世界遺産を活用した連携・交流

(4) 豊かな心を育む、歴史と文化の薫る
まちづくり

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

三重県 紀宝町

○当地域に高規格道路等が整備・道路整備交付金の充実がされれば、地域が自立的に発展するまちづくりが構築される。

①交流促進と連携強化

- ・世界遺産「熊野古道」を保有する近隣市町村と観光拠点間を短時間に結び、広域観光周遊ルートの形成が図られ観光面などでの連携が可能となり新たな産業交流を創出できる。
- ・当地域の主要産業である農水産物を、荷痛みなどのない高品質の状態で、短時間に首都圏などに安定した輸送が可能となり競争力の強化が図られる。
- ・近隣の新宮港や本町の鵜殿港など物流拠点へのアクセス強化、輸送の効率化、移動時間の短縮化が可能となることによって本町に立地している製紙工場や製材工場などの競争力強化、地域産業の振興や地域社会の活力維持が図られる。
- ・大都市圏域への時間距離が短縮されることによって、より広域的に事業を展開することが可能となり、新たなビジネスが展開される。

②安全で安心な暮らし

- ・災害時における代替性のある道路網が確保され災害時の物資輸送が迅速に行われるようになり、地域においても避難誘導體制の充実など地域防災力が強化される。
- ・集中していた自動車交通が分散されることによって交通渋滞が解消され、さらに良好な生活環境を創る道づくりを推進することによって交通事故等が減少する。
- ・医師不足に対応する病院間の連携や救急医療病院への搬送に要する時間が短縮され、広域医療ネットワークの整備充実が図られる。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

三重県 紀宝町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	その他
・地域活力の向上 ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・近畿自動車道紀勢線（熊野市～新宮市間）熊野川河口大橋の整備 ・一般国道42号紀宝バイパスの整備 ・主要地方道紀宝川瀬線（県道）道路改築 ・主要地方道鵜殿熊野線（県道）改良 ・主要地方道小船紀宝線（県道）改良 ・町道改良の推進	・中部圏域と近畿圏域を結ぶ重要区間を結ぶことによって期待される効果 ・高規格道路等と地方道の連携により道路網が強化される。 ★広域的な物流ネットワークの拡大 ★経済・産業の活性化 ★農林水産業の振興 ★病院間の連携・救急搬送ネットワークの形成 ★災害時における代替道路 ★より広域に交流・連携 ★所要時間の短縮 ★通勤時間圏域が拡大 ★交通分散による渋滞緩和・交通事故減少	町民アンケート すみやすさの設 問で「住みにく い」と答えた理 由の1位は「道 路が整備されて いない」 優先すべき事業 の設問では「幹 線道路の整備」 が上位
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・一般国道42号安全対策 ・県道安全対策 ・町道安全対策 ・一般国道42号舗装修繕 ・県道舗装修繕 ・町道舗装修繕	・自転車歩行者道の未整備区間を整備することによって期待される効果 ★交通事故の減少 ★だれもが快適で安全に通行できる ・舗装修繕によって期待される効果 ★路面透水の機能向上 ★凸凹解消による安全な道路	

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

三重県 紀宝町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	その他
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・一般国道42号排水路改良 ・県道排水路改良 ・町道排水路改良 ・一般国道42号の老朽化対策 ・県道の老朽化対策 ・町道の老朽化対策	・老朽化した排水路を改良することによって期待される効果 ★道路付近住宅の浸水対策・道路冠水対策等 ・老朽化した道路・橋梁を改修することによって期待される効果 ★災害に強い安心・安全な道路 ★道路・橋梁機能の充実	
・道路整備交付金制度の充実	・道整備交付金・地方道路整備交付金等	・道路整備交付金制度を充実させることによって期待される効果 ★財源が確保されることによって、地域の特性に応じた必要な道路整備を計画的に推進できる。 ★町内にある各集落への目配りと暮らしを向上	